

令和３年度「地方消費者行政に関する先進的モデル事業」

賞味期限の超過した食品を安全・安心に消費できる期限「あんしん期限」認証を  
前提とする「生活応援食品」の流通システム構築と、その普及に関する社会心理学的検証

<事業実施報告書>

2022 年（令和４年）２月  
公益社団法人日本非常食推進機構

## 目次

### はじめに

#### 第1章 「あんしん期限」認証・「生活応援食品」流通システム構築

1. 「あんしん期限」の認証を前提とする「生活応援食品」流通のためのシステム構築検討会
2. 「あんしん期限」「生活応援食品」の設定基準及び流通システムの検討及び試行
3. 「生活応援食品」寄付事例（試行）一覧
4. 賞味期限間近または超過した食品の消費の目安（ガイドライン）について
5. 寄付・提供者者が寄付を行いやすい体制（自動概算見積り機能等）の構築について

#### 第2章 「あんしん期限」を認証された「生活応援食品」の普及に関する社会心理学的検証

##### 1. 実施されたモデル事業と現地調査の概要

##### 2. 現地調査

- (1) サンプル概要
- (2) 本事業のイメージ
- (3) 活動後の評価
- (4) 小括

##### 3. 本調査の概要

- (1) サンプル概要と活動状況
- (2) 本事業の評価
- (3) 本事業に対するコメント

【ネガティブな意見】

【ポジティブな意見】

【どちらともいえない】

##### 4. 結論

##### 別添1 本調査（アンケート）のスケジュール

##### 別添2 本調査アンケート概要

##### 別添3 本調査アンケート単純集計

### おわりに

はじめに

## 背景

食べることが出来るのに廃棄されてしまう食品を意味する食品ロス削減することは、SDGsの基本理念である持続可能な世界を実現する上で、資源の有効利用や環境問題の解決、飢餓の撲滅など複数の世界共通の課題を同時解決する手段となっている。日本においても令和元年に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、国・地方公共団体・事業者・消費者などの関係者相互の連携協力により、外食産業、食品製造業、小売業はもちろん、農家や各家庭においても食品ロス削減への意識を高め、様々な取組みが始まったところである。

これらの取組みは社会福祉に有効利用する動きにも繋がり、規格外品や賞味期限の近づいた食品等をフードバンク等へ寄付することにより、廃棄を免れるケースが増えてきた。一方で、加工食品や長期保存食品などの出荷後、販売期間または備蓄食品等における保管期限が切れ廃棄が決定するタイミングが明確でないために、賞味期限が非常に近くなった食品は有効活用されにくい状態にある。また、寄付・提供者には配送費等の経費負担が必要となるが、寄付・提供側は廃棄する場合と寄付をする場合を参考に手作業で経費を算出することが一般的である。しかし、経費算出には寄付品の品目、荷姿、数量、賞味期限、保管場所、寄付目的など多くの情報が必要であり、寄付を完了するまでに長い時間とコストを要することから、寄付を諦めるケースが多い。また寄付を仲介するフードバンク等では、受入体制の準備や配布先の調整のために2～3か月以上の賞味期限があることを条件とすることが多く、その点でも寄付業務の効率化は喫緊の課題となっている。

寄付の取組を加速させる場合、手続きの時間を確保するため期限の明確化と延長が必要であり、同時に短時間で寄付取引を終えるために最終受益者との取引方法を（最終受益者とのマッチング、経費の確保、譲渡に関する覚書締結など）を効率化する必要がある。しかしながら、そのような寄付の取引費用を効率化するための施策は、各種啓蒙活動や物流実証事業への助成事業に比べて後れている状況である。

## 課題

日本のフードサプライチェーンにおいて、期限切れ（出荷期限等の商慣習を含む）による食品ロスの発生は、出荷期限や容器包装の工夫による賞味期限の延長など一定の進捗をみせている。しかし、食品事業者においては、統一ルールのない食品ロス削減要請により、現場における混乱は目に余るものがある。また、消費者に対する取り組みについては、既存の消費行動の枠組みの中での努力を促す啓蒙活動に偏っており、民間での寄付やおすそ分け、インターネットを利用したシェアリングのシステム構築は諸外国に比べて後手に回っている。

一方、日本の相対的貧困率は世界14位の15.7%（2016年度）と先進国中トップクラスであり、さらに新型コロナウイルス対策の影響で生活困窮世帯は急増しているという大きな国内的な課題を抱えている。

## 目的と取組方針

本事業では、これらの諸問題を同時解決する未利用食品の福祉転用を促進するため、寄付・提供者がフードバンク等へ寄付を行いやすい体制作りと再検査による安全性確認を前提とした「あんしん期限」

という新たな消費期限の認証方法を確立し、社会福祉協議会やフードバンク等を通じた「生活応援食品」と称する生活困窮者支援モデルとその社会実装に向けた具体的な取引システムを確立することを目的とする。

食品の賞味期限は「美味しく食べられる期限」の目安であり、賞味期限を過ぎたからといって品質が急激に劣化するというわけではない。そのため、賞味期限を過ぎた食品であっても科学的検証を行うことにより、安全・安心が担保される期限（あんしん期限）を設定し、「美味しく食べられる目安」の期限を最大限に伸ばし、有効活用される機会を増やすことを基本的な方針とする。

しかしながら、期限が切れた食品を寄付する場合、それを受け取る本人やそのご家族等が不快な思いをする可能性があり、また提供する側も失礼に当たるのではないかと消極的になることも懸念される。そのため、「社会実装」を念頭におく場合、ハード面に偏った仕組みづくりではなく運用面まで考慮したソフト部分を考慮する必要がある。具体的には、あんしん期限を付与された「生活応援食品」を、フードバンクや社会福祉協議会の職員及び、最終受益者がどのように感じるかということを、取り組みへのモチベーション、最終受益者が感じるスティグマ（恥・不名誉な烙印）等、社会心理的なアプローチにより検証する。なお、本事業による「生活応援食品」の寄付には、フードバンク、社会福祉協議会などの非営利活動団体が行う非営利活用にのみ使用（無償配布）されるため、転売等の防止のシステムが当然含意されている。

なお、今回の事業対象となる食品とは「防災備蓄食品」（長期保存食）とする。

## 第 1 章

「あんしん期限」認証・「生活応援食品」流通システム構築

1. 「あんしん期限」の認証を前提とする「生活応援食品」流通のためのシステム構築検討会の開催  
「あんしん期限」を設定し、「生活応援食品」を流通するにあたり、一般消費者の賞味期限に対する現在の心理と賞味期限の超過した食品に対するイメージを調査し、消費者に対してどのような「安心・安全」を担保すれば受け入れることが可能となるかを検討した。

検討会メンバー

公益社団法人日本非常食推進機構 理事長 古谷賢治

公益社団法人日本非常食推進機構 理事（合同会社あいなーす 代表 精神科医） 藤井優

愛知工業大学教授 小林富雄

また、寄付・提供者が寄付を行いやすい体制を整えるために、寄付にかかる手続き日数を短縮することを目的とする「自動概算見積り機能」のシステム内容を検討した。

検討会メンバー

公益社団法人日本非常食推進機構 理事長 古谷賢治

神戸大学数理データサイエンスセンター副センター長 小澤教授及び WEB 開発チーム

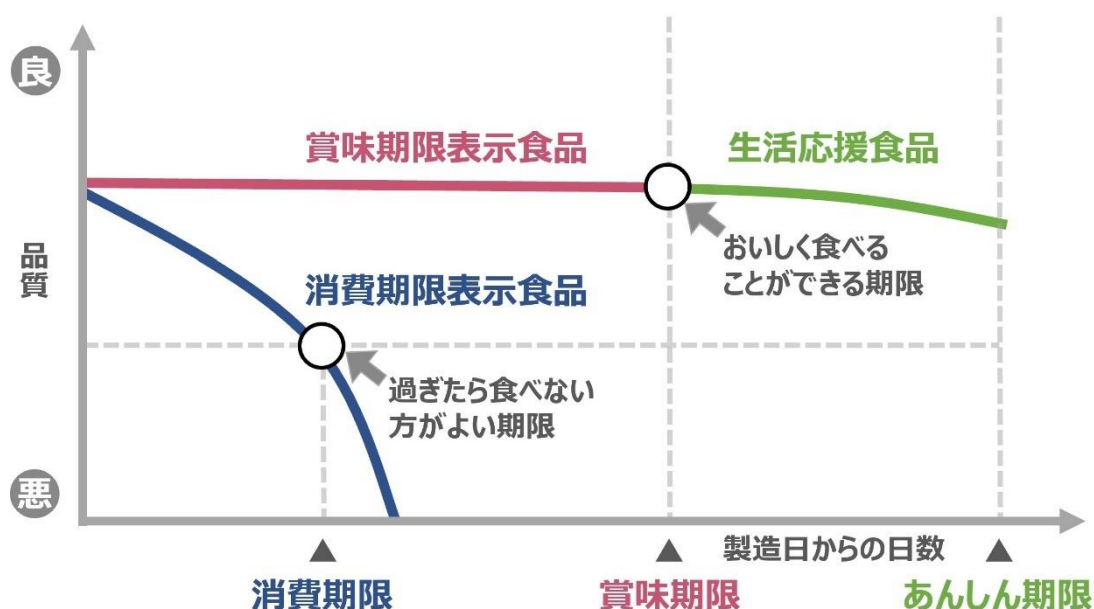
## 2. 「あんしん期限」「生活応援食品」の設定基準及び流通システムの検討及び試行

現状では、フードバンクやこども食堂等は商品カテゴリーを問わず賞味期限残り 1 か月～賞味期限が過ぎた食品は受け入れが難しい場合が多い。

「消費期限」は生肉やお弁当、和菓子、生めんなど品質が急激に劣化しやすい食品につけられているが、「賞味期限」は「美味しく食べられる期限」であり、防災備蓄食品やレトルト食品、缶詰食品など、比較的品質劣化が緩やかな商品につけられている。しかし、「美味しく食べられる期限」を過ぎて、その後どの位の期間を目安に安心して食べられるのか、不明確であり、個々の判断に委ねられている部分がある。

そこで「賞味期限＝美味しく食べられる期限」を過ぎて、「安全」の目安となる期限を「あんしん期限」、「あんしん期限」ステッカーを貼り付けた食品を「生活応援食品」とした。

### 消費期限,賞味期限,あんしん期限のイメージ



先に述べた「賞味期限＝美味しく食べられる期限」を過ぎて、「安全」の目安となる日数の算出の前に、対象食品の検体抽出による安全性の検証を行った。

試験検査の委託及び検査内容については専門家の意見を聞き、消費者庁と協議の上、以下の通りとした。

試験検査の委託は試験検査機関食品表示法第 8 条第 7 項の規定に準拠し、検査結果の信頼性を保証する業務管理の体制が整っている食品衛生法第 4 条第 9 項に規定する登録検査機関に委託して実施するものとする。

検体採取にあたっては、試験検査を委託する登録検査機関の技術的助言に従い、適切に採取、梱包及び郵送等を実施することとする。なお、本試験は適切な環境下で保管されていたことを確認するためのものであることに鑑み、同一施設内で保存されている同一ロットと見なすことができる食品の検体採取数は、5 検体以内とすることとする。

食品試験検査にて確認すべき項目

品目	検査項目	判定結果
無菌包装米	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 クロストリジウム属菌 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体 1g につき 10 万個以下 大腸菌群陰性 クロストリジウム属菌陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
アルファ化米 (あべかわもちも 含む)	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体 1g につき 10 万個以下 大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
缶詰パン	細菌試験 官能検査(外観、色味、臭気)	発育し得る微生物陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
レトルト食品 (容器包装詰加熱 加圧殺菌食品)	細菌試験 官能検査(外観、色味、臭気)	発育し得る微生物陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
ビスケット類	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 過酸化 物 価 (POV) 及び 酸 化 (AV) 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体 1g につき 10 万個以下 大腸菌群陰性 製品中に含まれる油脂の酸化が 3 を超え、かつ、過酸化 物 価 が 30 を超えるものであってはならない。 製品中に含まれる油脂の酸化が 5 を超え、又は過酸化 物 価 が 50 を超えるものであってはならない。 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
ミネラルウォーター (殺菌又は除菌 を行ったもの)	大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
インスタントみそ 汁	細菌数(生菌数) 大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体 1g につき 10 万個以下 大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし
保存用缶入りジュ ース	大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし

これらの結果を踏まえ、専門家に助言を求め、消費者庁と協議の上、以下の考え方により賞味期限切



れの食品について「食べきる目安となる期限」の考え方を設定することとした。

賞味期限は、メーカーが品質をベストで保持できると検査などで確認した期間に対して、一般的に安全係数として 0.8 以上をかけ算して決めている。1 以下の安全係数をかけ算することで期限を短くし、安全や品質に万全を期している。

#### 賞味期限切れ後の食べきる目安

多くの食品メーカーは安全係数として 0.8 を採用してるが、場合によっては 0.9 を用いることもある。

そのため、安全係数が 0.9 であると想定し、賞味期限（月数）に 0.1（＝10 分の 1）をかけ算する。これにより、品質を保持できている、ということをメーカーが確認している期間をおおまかに算出できる。さらに、念のため 2 分の 1 をかけ算して半分の期間とした。

災害用食品の賞味期限が 3 年なら、食べきる目安は 3 年（＝36 カ月）×10 分の 1×2 分の 1＝1.8 カ月となりおよそ 2 カ月。5 年（＝60 カ月）なら、食べきる目安は 3 カ月となる。

#### あんしん検査済みステッカーの作成

食品試験検査に合格した食品に貼付けするステッカーを作成した。

ステッカーの大きさは、横 5.3 cm×縦 2.2 cm 程度であり、個々の食品に貼付けを想定するため、大きすぎると貼り付けられないことが考えられ、小さすぎると目立たないため、この程度の大きさとした。ステッカーの仕様は強粘着、再貼付け不可のステッカーとした。貼付けする個々の商品がアルミや、ビニール製、缶などが想定されるため、剥がれにくく、また、不正利用防止のため、ステッカーに十字の切り目入りとし、再貼付けを防止する仕様とした。

あんしん検査済みステッカー



あんしん検査済みステッカーは、再検査済み、PL 保険対応を示す「生活応援食品」の重要な表示物であるため、管理方法を以下の通りとした。

- ①あんしん検査済みステッカーの貼り付けは、食品の配布団体である、フードバンクまたは子ども食堂等で行うこととした。
- ②試験検査対象食品について試験検査結果後に、合格品について各フードバンクまたは子ども食堂等へ配布予定数量+予備（破損時等の対応のため）を郵便（レターパック）で事前に送付した。
- ③送付時には納品書、受領書件ステッカー返却伝票を同封した。（資料 1）
- ④あんしん検査済みステッカーを受け取ったフードバンクまたは子ども食堂等は、納品書にて受け取ったステッカー枚数を確認し、受領書に担当者名を記入・押印の上、返却伝票に使用数数、破損

数、予備使用数を記載して、破損したステッカーと使用しなかった予備ステッカーと共に、返送することとした。

- ⑤事務局にてステッカー発行管理を行い、発行数及び貼付け数、返却数を把握し、随時在庫管理を行った。

#### 本事業についてのリーフレット作成

本事業を周知させるためのリーフレットを作成した。(数量：5000 枚・両面)

「生活応援食品」の仕組み、本事業への取組み参加を依頼する内容とした。

作成したリーフレットは、行政を通じて県内各市町の企業や対象事業者へ配布した。徳島商工会議所を通じて、データ配信を依頼して事業参加を呼び掛けた。

また、徳島県消費者協会へ配布し、本事業について周知した上で、アンケート協力を依頼した。

(資料 2)

#### 損害保険会社と契約

①保険種類 生産物賠償責任保険

②補償項目 身体障害、財物損壊 共通

1 名・1 事故あたり 保険期間中 1,000,000 千円 限度

#### モデル事業としての食品寄付元の選定

本事業にて賞味期限間近または超過した食品をフードバンクやこども食堂へ寄付するにあたり、食品検体の提供や適切な配送など必要とする手続きの協力が可能なことを選定の基準とした。

#### モデル事業としての食品寄付先：フードバンクやこども食堂の選定

本事業にて生活応援食品としての準備が整った食品の寄付をうけ、最終受益者への配布を行うフードバンクやこども食堂の選定にあたり、以下の点に留意、または同意を得られることを基準とした。

- ①本事業をモデル事業としての実施にご理解いただき、アンケート調査への協力を必須とすること。
- ②本事業の趣旨をご理解いただき、配布時に最終受益者への必要な説明対応が可能なこと。
- ③生活応援食品の管理及び、ステッカー管理ができること。
- ④モデル事業実施期間において配布活動を継続して実施していること。

### 3.「生活応援食品」の寄付事例（試行）

#### （第1事例） 都内企業様

防災備蓄食品セットの更新に伴い、フードバンクやこども食堂等への寄付を検討された。当初、賞味期限に余裕のある備蓄食品セットの寄付のみを想定されていたが、本モデル事業についての説明をしたところ、事業内容に賛同され、賞味期限間近の商品の寄付を検討され、寄付実施となった。

食品検査済み「生活応援食品」対象商品

寄付実施時期	商品名	賞味期限	数量
2021.8月～9月	ミネラルウォーター	2021.9月	84本
	あべかわもち	2021.9月	42個
	アルファ化米（五目ごはん）	2021.8月	42個
	アルファ化米（山菜おこわ）	2021.8月	42個

対象商品に対し、食品検査機関にて食品試験検査を以下の通り実施した。

検体数各3

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	大腸菌群	外観,色味,臭気	
ミネラル ウォーター①	異常なし	異常なし	90日
ミネラル ウォーター②	異常なし	異常なし	90日
ミネラル ウォーター③	異常なし	異常なし	90日

試験商品名	検査項目			あんしん 期限設定
	細菌数 (生菌数)	大腸菌群	外観,色味,臭気	
あべかわもち ①	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90日
あべかわもち ②	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90日
あべかわもち ③	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90日

試験商品名	検査項目			あんしん 期限設定
	細菌数 (生菌数)	大腸菌群	外観,色味,臭気	
アルファ化米 (五目ごはん) ①	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90日

アルファ化米 (五目ごはん) ②	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90 日
アルファ化米 (五目ごはん) ③	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90 日

試験商品名	検査項目			あんしん 期限設定
	細菌数 (生菌数)	大腸菌群	外観,色味,臭気	
アルファ化米 (山菜おこわ) ①	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90 日
アルファ化米 (山菜おこわ) ②	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90 日
アルファ化米 (山菜おこわ) ③	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90 日

寄付先：公益社団法人日本非常食推進機構（初回のみ、当法人にて寄付を受け、ステッカー貼付け後、当法人が実施する配布事業にて使用した。）

配布日時：2021 年 8 月 21.22 日（徳島県）

2021 年 8 月 26.27 日（三重県）

配布時の様子



## （第 2 事例） 都内企業様

防災備蓄食品セットの更新に伴い、フードバンクやこども食堂等への寄付を検討された。当初、賞味期限に余裕のある備蓄食品セットの寄付のみを想定されていたが、本モデル事業についての説明をしたところ、事業内容に賛同され、賞味期限間近の商品の寄付を検討され、寄付実施となった。

食品検査済み「生活応援食品」対象商品

寄付実施時期	商品名	賞味期限	数量
2021.9 月末 ～12 月	インスタント味噌汁	2021.10 月	3,000 食
	カゴメ野菜たっぷりスープ (トマト)	2021.9.13	246 食

	カゴメ野菜たっぷりスープ (かぼちゃ)	2021.9.12	246 食
	カゴメ野菜たっぷりスープ (豆)	2021.9.16	246 食

対象商品に対し、食品検査機関にて食品試験検査を以下の通り実施した。

検体数各 3

試験商品名	検査項目			あんしん 期限設定
	細菌数 (生菌数)	大腸菌群	外観,色味,臭気	
インスタント 味噌汁①	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90 日
インスタント 味噌汁②	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90 日
インスタント 味噌汁③	300 cfu/g 以下	陰性/0.2g	異常なし	90 日

カゴメ野菜たっぷりスープに関しては、保管場所（ビル）が 2 か所に分散されていたため、各保管場所、各検体数 3 として食品試験検査を実施した。

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	細菌試験	外観,色味,臭気	
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(トマト)①	陰性	異常なし	60 日
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(トマト)②	陰性	異常なし	60 日
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(トマト)③	陰性	異常なし	60 日
保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(トマト)①	陰性	異常なし	60 日
保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(トマト)②	陰性	異常なし	60 日
保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(トマト)③	陰性	異常なし	60 日

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	細菌試験	外観,色味,臭気	
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(豆)①	陰性	異常なし	60 日
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(豆)②	陰性	異常なし	60 日
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(豆)③	陰性	異常なし	60 日
保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(豆)①	陰性	異常なし	60 日
保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(豆)②	陰性	異常なし	60 日
保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(豆)③	陰性	異常なし	60 日

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	細菌試験	外観,色味,臭気	
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(かぼちゃ)①	陰性	異常なし	90 日
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(かぼちゃ)②	陰性	異常なし	90 日
保管ビル① カゴメ野菜たっぷり スープ(かぼちゃ)③	陰性	異常なし	90 日
保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(かぼちゃ)①	陰性	異常なし	90 日

保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(かぼちゃ)②	陰性	異常なし	90 日
保管ビル② カゴメ野菜たっぷり スープ(かぼちゃ)③	陰性	異常なし	90 日

寄付先：特定非営利活動法人 Creer

配布日時：2021 年 9 月 24.25 日（徳島県）

2021 年 9 月～12 月（徳島県）

ステッカー貼付けの様子



配布時の様子



（第 3 事例）

関西 行政様

防災備蓄食の更新に伴い、有効的に活用しきれなかった商品について、本事業についての賛同をいただき、寄付実施となった。

食品検査済み「生活応援食品」対象商品

寄付実施時期	商品名	賞味期限	数量
2021.10 月	保存用ビスケット	2021.10 月	2,600 食

対象商品に対し、食品検査機関にて食品試験検査を以下の通り実施した。

検体数各 3

試験商品名	検査項目					あんしん 期限設定
	細菌数 (生菌数)	大腸 菌数	酸化	過酸化 物価	外観, 色味,臭気	



保存用ビスケット ①	300 cfu/g 以下	陰性/ 0.2g	0.5	3.0 meq/kg	異常なし	90 日
保存用ビスケット ②	300 cfu/g 以下	陰性/ 0.2g	0.5	2.5 meq/kg	異常なし	90 日
保存用ビスケット ③	300 cfu/g 以下	陰性/ 0.2g	0.4	2.3 meq/kg	異常なし	90 日

寄付先：特定非営利活動法人 Creer

徳島県消費者協会（アンケート実施の際のサンプルとして使用）

NPO 法人 Happy リレーいろいろ（茨城県）

配布日時：2021 年 9 月 24.25 日（徳島県）

2021 年 9 月～12 月（徳島県）

2021 年 10 月 30 日（茨城県）

ステッカー貼付けの様子



配布時の様子



（第 4 事例）

中部地区防災商社様

防災備蓄食品の更新に伴い、フードバンクやこども食堂等への寄付を検討された。検討時点においてすでに賞味期限間近であり、寄付に係る手続きを進める中で、これまでであれば寄付受付は難しいところであったが、本モデル事業についての説明をしたところ、事業内容に賛同され、寄付実施となった。

食品検査済み「生活応援食品」対象商品

寄付実施時期	商品名	賞味期限	数量
2021.10 月	きんぴらごぼう	2021.8 月	1,450 食
	さつま芋のレモン煮	2021.7 月	700 食
	ソフト金時豆	2021.8 月	900 食
	カゴメ野菜一日これ一本	2021.7 月	2,100 本

対象商品に対し、食品検査機関にて食品試験検査を以下の通り実施した。



検体数各 3

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	細菌試験	外観,色味,臭気	
きんぴらごぼう ①	陰性	異常なし	90 日
きんぴらごぼう ②	陰性	異常なし	90 日
きんぴらごぼう ③	陰性	異常なし	90 日

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	細菌試験	外観,色味,臭気	
さつま芋の レモン煮①	陰性	異常なし	90 日
さつま芋の レモン煮②	陰性	異常なし	90 日
さつま芋の レモン煮③	陰性	異常なし	90 日

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	細菌試験	外観,色味,臭気	
ソフト金時豆 ①	陰性	異常なし	90 日
ソフト金時豆 ②	陰性	異常なし	90 日
ソフト金時豆 ③	陰性	異常なし	90 日

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	大腸菌群	外観,色味,臭気	
カゴメ野菜一日 これ一本①	陰性	異常なし	90 日
カゴメ野菜一日 これ一本②	陰性	異常なし	90 日
カゴメ野菜一日 これ一本③	陰性	異常なし	90 日

寄付先：フードバンクのわみ（愛知県）

配布日時：2021 年 10 月 6 日（愛知県）

ステッカー貼付けの様子



## （第 5 事例）

愛知県総合物流企業様

防災備蓄食の更新に伴い、有効的に活用しきれなかった商品について、本事業についての賛同をいただき、寄付実施となった。

食品検査済み「生活応援食品」対象商品

寄付実施検討時期	商品名	賞味期限	数量
2021.12 月	ミネラルウォーター （富士サンスイ(株)「富士山麓の 保存水」1.5L）	2021.10.12	4,764 本

対象商品に対し、食品検査機関にて食品試験検査を以下の通り実施した。

保管場所が 4 か所に分散されていたため、各保管場所、各検体数 3 として食品試験検査を実施した。

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	大腸菌群	外観,色味,臭気	
保管場所① ミネラル ウォーター①	陰性	異常なし	90 日
保管場所① ミネラル ウォーター②	陰性	異常なし	90 日
保管場所① ミネラル ウォーター③	陰性	異常なし	90 日

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	大腸菌群	外観,色味,臭気	
保管場所② ミネラル ウォーター①	陰性	異常なし	90 日

保管場所② ミネラル ウォーター②	陰性	異常なし	90 日
保管場所② ミネラル ウォーター③	陰性	異常なし	90 日

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	大腸菌群	外観,色味,臭気	
保管場所③ ミネラル ウォーター①	陰性	異常なし	90 日
保管場所③ ミネラル ウォーター②	陰性	異常なし	90 日
保管場所③ ミネラル ウォーター③	陰性	異常なし	90 日

試験商品名	検査項目		あんしん 期限設定
	大腸菌群	外観,色味,臭気	
保管場所④ ミネラル ウォーター①	陰性	異常なし	90 日
保管場所④ ミネラル ウォーター②	陰性	異常なし	90 日
保管場所④ ミネラル ウォーター③	陰性	異常なし	90 日

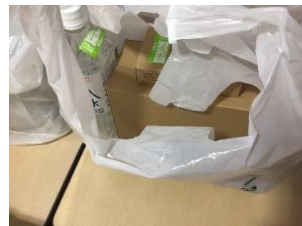
寄付先：関西大学（大阪府）（コロナ禍の学生を応援する企画として学生 3,000 人を対象に関西大学と教育後援会が実施）

フードバンクのわみ（愛知県）

配布日時：2021 年 12 月 6 日（愛知県）

2021 年 12 月 21 日（大阪府）

ステッカー貼付けの様子



## (第 6 事例)

### 都内法人様

防災備蓄食品セットの更新に伴い、フードバンクやこども食堂等への寄付を検討された。当初、賞味期限に余裕のある備蓄食品の寄付のみを想定されていたが、本モデル事業についての説明をしたところ、事業内容に賛同され、賞味期限間近の商品の寄付を検討され、寄付実施となった。

時期	商品名	賞味期限	数量
2021.12 月	保存用ビスコ	2021.12 月	7,279 個

対象商品に対し、食品検査機関にて食品試験検査を以下の通り実施した。

### 検体数各 3

試験商品名	検査項目					あんしん 期限設定
	乳酸菌数	大腸 菌群	酸化	過酸化 物価	外観, 色味,臭気	
保存用ビスコ ①	$7.4 \times 10^6$ cfu/g 以下	陰性/ 0.2g	0.5	1.4 meq/kg	異常なし	90 日
保存用ビスコ ②	$9.2 \times 10^6$ cfu/g 以下	陰性/ 0.2g	0.5	1.2 meq/kg	異常なし	90 日
保存用ビスコ ③	$6.2 \times 10^6$ cfu/g 以下	陰性/ 0.2g	0.5	1.2 meq/kg	異常なし	90 日

寄付先：関西大学（大阪府）（コロナ禍の学生を応援する企画として学生 3000 人を対象に関西大学と教育後援会が実施）

和歌山大学

特定非営利活動法人 Creer

東京都公園協会

フードバンクとくしま

配布日時：2021 年 12 月 21 日（大阪府）

2021 年 12 月 24 日（徳島県）

2022 年 1 月 25 日（和歌山県）

2022 年 1 月 23 日（東京都）

## ステッカー貼付けの様子



## 配布時の様子



## 生活応援食品 試行全体数量

日付	配布場所	対象生活応援食品	数量
8月	鳴門市役所・徳口橋西公園	ミネラルウォーター	80
		あべかわもち	40
		アルファ化米（五目）	40
		アルファ化米（山菜）	40
8月	いなべ市社会福祉協議会	ミネラルウォーター	4
		あべかわもち	2
		アルファ化米（五目）	2
		アルファ化米（山菜）	2
9月末～12月	特定非営利活動法人Creer	ビスケット	110
		かぼちゃのスープ	246
		トマトのスープ	246
		豆のスープ	246
		味噌汁	3000
		ビスケット（大阪市）	2500
10月	フードバンクのわみ	きんぴらごぼう	1450
		さつま芋のレモン煮	700
		金時豆	900
		カゴメ野菜一日これ一本	2100
10月	NPO法人happyリレーいろいろ	ビスケット（大阪市）	100
12月	関西大学	保存水	3012
12月	フードバンクのわみ	保存水	1752
12月	関西大学	保存用ビスコ	3100
12月	特定非営利活動法人Creer	保存用ビスコ	3150
12月	フードバンクとくしま	保存用ビスコ	350
1月	和歌山大学	保存用ビスコ	319
1月	東京都公園協会	保存用ビスコ	360
		合計	23851

## 第1事例から第6事例を通して

### (寄付決定～フードバンク等への寄付実行まで)

企業や行政が防災備蓄食品の更新の際に、役割を終えた防災備蓄食品については、廃棄処分されるケースが多かったが、食品ロス削減への意識の高まり等により、有効活用を図るケースが増えてきた。しかし、この取組みは各企業や行政が手探りの中行っているのが現状である。本事業において第1事例から第6事例では、当初、企業や行政からの防災備蓄食品の寄付依頼は賞味期限にある程度余裕（3か月以上）のあるものを対象として検討をされているものであった。当団体が寄付実行に向けて商品情報や、保管状況、搬出条件などのヒアリングを行っている中で、「まもなく賞味期限を迎える商品がある」ことがわかり、それら賞味期限間近な商品は寄付することもなく、廃棄予定であるとのことであった。

当団体より本モデル事業の説明を行う中で、今後の防災備蓄食品等の管理としてフードバンク等への寄付を見越した備蓄計画（余裕を持った入れ替え）を実施することは大前提としながらも、現在まだ保管されている賞味期限の迫ったまたは超過した食品を「生活応援食品」として再利用する取組みには、どの企業もおおむね前向きな姿勢であった。要確認事項として挙げたのは、「事故時の対応」であり、生産物賠償責任保険で当団体が対応とすることにより、その問題は解決された。

多くの企業がSDGsへの貢献を目標に掲げている中、本件のような寄付活動はその第一歩と考えられ、社員がSDGsを身近に意識できるものとして本モデル事業は寄付活動の枠を広げられる可能性のあるものであり、危うく処分されるところであった食品等の安全を担保した上で、必要とされる方々へ届けることが出来た。

寄付決定から食品検査依頼までのプロセスは、複雑な工程もなく、特に問題なく進められた。

食品検査機関への試験検査依頼手順

- ①試験対象食品の検査項目の確認
- ②1検体あたりに必要なサンプルの数の確認
- ③食品検査依頼書の作成
- ④食品検査委依頼書の事前FAX
- ⑤必要検体に依頼書を同封の上、食品検査試験場へ配送
- ⑥1～5日程度で食品検査結果の回答
- ⑦寄付実行

### (寄付・提供者からの寄付受領～フードバンク等での最終受益者への配布まで)

「賞味期限間近」「賞味期限の超過した」食品を取り扱うことについてフードバンクやこども食堂等では様々な意見があり、本事業への参加について理解をいただくことは全体として難しかった。

本事業への参加を見送る団体の意見

- ・最終受益者に不安感が出る可能性があるため
- ・成長途中にある最終受益者や判断能力に不安のある方に積極的に展開していくのは難しいと感じる

本事業への参加をした団体の意見

- ・「賞味期限はおいしさの目安」という考えが浸透しつつあり、このような考えを持つ方には、受け入れやすいと感じたから。
- ・「生活応援食品」は食品試験検査に合格しているため、安全であり、万が一の事故の際にも保障対

応であるため、安心して使用できるから。

「生活応援食品」の寄付受け入れを決定したフードバンク、こども食堂等での受入れ～最終受益者への配布については、おおむね大きな問題はなかったが、今後の展開を考えるにあたり、改善すべき点はいくつかあった。

「生活応援食品」の受入れ～最終受益者への配布までの手順

- ①「生活応援食品」の受入れ
- ②あんしん検査済みステッカー及び受領書、納品書、返却伝票の受領
- ③受入数量及び、ステッカー枚数の確認、受領書の記入
- ④受入食品にあんしん検査済みステッカーの貼り付け
- ⑤返却伝票の記入
- ⑥配布（説明と共にアンケート実施）
- ⑦未使用及び破損したあんしん検査済みステッカーの返却

あんしん検査済みステッカーの貼り付けは、食品を受入れたフードバンクやこども食堂等にて行うこととしているが、食品一つ一つに貼付けする作業が予想以上に大きな負担となった。フードバンクやこども食堂等では、ボランティアスタッフにて配布活動を行っているケースが多く、準備にかかる負担は大きくなった。

また、あんしん検査済みステッカーを貼付けすることにより、その商品に対して事故時の賠償責任対象となるため、あんしん検査済みステッカーの仕様を強粘着、再貼付け不可としてはいるが、それだけで管理体制が十分とは言えない（ナンバリングで管理などの必要性の検討）と感じた。

今回の第1事例から第6事例までの検証配布事業において、事故対応が必要なケースはなかったが、今後万が一食中毒などの事故が発生した際の連絡先等が不明確であったため、（最終受益者にとって）改善の必要を感じた。

今回の対象商品の保管場所は、オフィスビル内、工場内備蓄倉庫、防災備蓄倉庫、プレハブ倉庫など様々であった。食品試験検査の結果は、先に述べた通りであり、すべての項目において異常は認められられず、配布活動後も事故報告は上がっていない。引き続き安全確認のため、今後も試験検査は必要であると感じた。

#### 4. 賞味期限間近または超過した食品の消費の目安（ガイドライン）について

「あんしん期限」認証・「生活応援食品」流通システム検証の結果を踏まえ、以下のとおり、消費の目安について示す。

品目	検査項目	判定結果	消費の目安
無菌包装米	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 クロストリジウム属菌 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体 1g につき 10 万個以下 大腸菌群陰性 クロストリジウム属菌陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし	賞味期限設定 3 年…賞味期限から 60 日  賞味期限設定 5 年以上…賞味期限から 90 日
アルファ化米 (あべかわもちも含む)	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体 1g につき 10 万個以下 大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし	
缶詰パン	細菌試験 官能検査(外観、色味、臭気)	発育し得る微生物陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし	
レトルト食品 (容器包装詰加熱加圧殺菌食品)	細菌試験 官能検査(外観、色味、臭気)	発育し得る微生物陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし	
ビスケット類	一般細菌数(生菌数) 大腸菌群 過酸化価(POV)及び酸化(AV) 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体 1g につき 10 万個以下 大腸菌群陰性 製品中に含まれる油脂の酸化が 3 を超え、かつ、過酸化価が 30 を超えるものであってはならない。 製品中に含まれる油脂の酸化が 5 を超え、又は過酸化価が 50 を超えるものであってはならない。 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし	
ミネラルウォーター (殺菌又は除菌を行ったもの)	大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし	



インスタントみそ汁	細菌数(生菌数) 大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	細菌数(生菌数)は、検体 1g につき 10 万個以下 大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし	
保存用缶入りジュース	大腸菌群 官能検査(外観、色味、臭気)	大腸菌群陰性 官能検査は、外観に容器破損、膨張等の異常なし、色味及び臭気に異常なし	

防災備蓄食品として長期に品質が保持されるレトルト食品や缶詰等の長期保存食品については、上記品質保持に係る試験検査を実施し、対象食品が適切に保存されていたことを確認した上で、対象食品の賞味期限から起算して食べきる目安となる期限を設定した。

災害用食品の賞味期限が3年なら、食べきる目安は3年（＝36カ月）×10分の1×2分の1＝1.8カ月となりおよそ2カ月。5年（＝60カ月）なら、食べきる目安は3カ月となる。

本事業の中で賞味期限間近又は超過した食品に対して食品試験検査を実施し、「あんしん期限」を付与した食品の取扱品目が少なかった。防災備蓄食品には今回試験検査を実施した食品以外にも多くの品目があるため、今後も検証が必要である。

## 5. 寄付・提供者が寄付を行いやすい体制（自動概算見積り機能等）の構築について

寄付・提供者が簡単な入力フォームで配送費等を概算する WEB 機能の構築は神戸大学数理データサイエンスセンター副センター長 小澤教授をはじめ WEB 開発チームと共にを行った。

現状は寄付に係る経費などの見積りを取り、その後社内で寄付検討を進めているが、見積りに必要な「寄付品の情報把握」には提供・寄付者からのヒアリングを要するため 3-5 日ほどかかり、「寄付先に対する配送費などの経費計算」には集荷先から配送先への配送料金等の詳細確認（配送業者への配送料金確認）に 3-7 日ほどかかっている。これは手作業で行うことによる人的負担が大きいことによる。

そこで、概算見積りとするために必要な情報をもれなく入力する簡単な入力フォームと、最適かつ公平な寄付先の選定を自動で行うことにより、作業日数の短縮化を目標とした。

- ・効率の良い、寄付先の選定
- ・寄付に係る配送費を含む経費などの見積金額算出の最速化

作業工程	現状	目標
寄付品の情報把握 (品目、数量、荷姿、保管状況など)	3-5 日	1 日
寄付に係る概算見積	3-7 日	
寄付先決定	3-7 日	3-7 日
寄付実行	5-7 日	5-7 日
合計所要日数	14 日-26 日	9 日-15 日

(寄付・提供者側の寄付検討期間は含まれていない)

(寄付・提供者側の寄付可能日時の調整に伴う日数は含まれていない)

このドキュメントでは、JEFOWebサイト見積もりフォームのWebサイト機能とユーザーガイドを詳細に説明します。

プロジェクト名	JEFO Quotation Form Development
プロジェクトタイムライン	2021年11月24日～12月22日(フェーズI)
ウェブサイト名	<a href="https://estimate-test.jefo-donation.org/">https://estimate-test.jefo-donation.org/</a> (testing)
開発ツール	CodeIgniter4 (PHP)
データベースツール	MySQL
ユーザーの役割	最初のフェーズでは、ログインログアウトユーザーを定義する必要はありません。
必要な機能	フェーズI開発には以下が含まれます <ul style="list-style-type: none"> <li>● 見積り依頼書 の作成</li> <li>● 見積り依頼書 の動的寄付商品テーブル。</li> <li>● 見積り依頼書 のフォーム検証</li> <li>● 搬出ヒアリングシート の作成</li> <li>● 搬出ヒアリングシート のフォーム検証</li> <li>● Estimate JEFOWebサイトを通常のJEFOWebサイトにリンクします。</li> </ul>

## 見積り依頼書 の作成



アクション	スクリーン
-------	-------

\* 動的寄付商品テーブルとは入力した内容やその他の要因によって表示内容が変わるテーブル (WEB ページ) を指す。

<p>ホームページから「見積り依頼書」ボタンをクリックします。</p>	
<p>次に、ユーザーが入力する必要のあるすべての情報を確認できます。</p>	
<p>この段階で、戻るボタンをクリックすると、ホームページにリダイレクトされます。</p>	
<p>この段階で、送信ボタンをクリックすると、データがデータベースに保存されます。</p>	

	
<p>[完了]をクリックすると、ホームページにリダイレクトされます。</p>	

## 見積り依頼書 の動的寄付商品テーブル

Action	Screenshot
<p>フォームには、寄付された製品のリストが表示されます。ユーザーは各製品の情報を入力できます。</p>	
<p>さらに製品を追加するには、[さらに追加]ボタンをクリックします。テーブルの行を拡張します。</p>	

	
<p>行を削除するには、削除する特定の行を選択して、[削除]ボタンをクリックします。テーブルからデータを削除します。</p>	 
<p>データを削除するときにすべてを選択することもできます。</p>	

## 見積り依頼書 のフォーム検証

Action	Screenshot
--------	------------

<p>フォームからの検証があります。</p> <p>一部の入力には値が必要です。</p> <p>電子メールは正しい形式である必要があります。</p> <p>ユーザーは、これらの入力を入力するまでフォームを送信できませんでした。</p>	<p>寄贈品共通情報</p> <p>御社名 が必要です。</p> <p>ご入力日</p>	<p>yyyy/mm/dd</p> <p>ご入力日 が必要です。</p>
	御社名	<p>Enter company name</p> <p>御社名 が必要です。</p>
	ご担当者名	<p>Enter pic name</p> <p>ご担当名 が必要です。</p>
	ご住所	<p>Enter address</p> <p>ご住所 が必要です。</p>
	お電話番号	<p>Enter phone_number</p> <p>お電話番号 が必要です。</p>
	メールアドレス	<p>Enter email</p> <p>メールアドレス が必要です。</p>
	寄贈品保管場所(倉庫)	<p>Enter Donation Storage Location (warehouse)</p> <p>寄贈品保管場所(倉庫) が必要です。</p>
	寄贈予定時期	<p>yyyy/mm/dd</p> <p>寄贈予定時期 が必要です。</p>

## 搬出ヒアリングシート の作成

Action	Screenshot
<p>ホームページから「搬出ヒアリングシート」ボタンをクリックします。</p>	<p>JEFO Donation マッチング</p> <p>メニュー</p> <p>売値り依頼書</p> <p>搬出ヒアリングシート</p> <p>JEFO ページに戻ります</p>
<p>次に、ユーザーが入力する必要のあるすべての情報を確認できます。</p>	<p>防災備蓄品搬出 ヒアリングシート</p> <p>公益社団法人日本非常食推進機構</p> <p>記入日 yyyy/mm/dd</p> <p>御社名 Enter company name</p> <p>ご担当者名 Enter pic name</p> <p>お電話番号 Enter phone_number</p> <p>寄贈品階数 Number of cargo handling floors</p> <p>寄贈品停車可能台数 Number of vehicles that can be stopped at the cargo handling station</p> <p>寄贈品からEVまでの距離 Distance from the cargo handling area to the EV</p> <p>駐車料金 無料 Parking Duration 分 Parking fee 円</p> <p>トラック高さ制限 Truck height limit (m)</p>

寄付予定品の詳細情報、数量、賞味期限や寸法などを記載し、寄付に係る経費などを概算で素早く算出し、寄付に係る手続き日数の短縮を目指す。安心、公平な寄付先とのマッチングなど、今後の利便性を考え、現在運用している寄付マッチングサイトと連動する仕組みを作っている。

# 納品書

年 月 日

様



公益社団法人 日本非常食推進機構

〒512-0931

三重県四日市市浮橋一丁目4番地3

E-mail wba@jefo.or.jp

TEL 059-328-5345

下記のとおり、納品致します。

## 記

	安心検査済みステッカー 「60日」	安心検査済みステッカー 「90日」
必要枚数	125 枚	125 枚
予備枚数(※)	5 枚	5 枚
合計	130 枚	130 枚

**※ 張り付けていないステッカーの返却をお願い致します。**

貼り付け後は速やかに

- ☐ 未使用の予備ステッカー
- ☐ 破損したステッカー
- ☐ 受領書・ステッカー返却伝票(ご記入ください)

上記3点を同封の封筒にてご返送をお願い致します。

ご返却いただくもの

予備

予備

予備

破損

破損

受領書

・

ステッカー

返却伝票



※ 太枠内ご記入の上、ご返送ください

## 受 領 書

公益社団法人 日本非常食推進機構 宛

団体名称 ○○フードバンク

ご住所 三重県○○市○○町○○○○

お電話番号 ○○○-○○○-○○○○

記

	安心検査済みステッカー「60日」	安心検査済みステッカー「90日」
必要枚数	125 枚	125 枚
予備枚数	5 枚	5 枚
合計	130 枚	130 枚

上記の通り、受領いたしました。

年 月 日

ご担当者様:

印

## ステッカー返却伝票

公益社団法人 日本非常食推進機構 宛

団体名称 ○○フードバンク

ご住所 三重県○○市○○町○○○○

お電話番号 ○○○-○○○-○○○○

	安心検査済みステッカー「60日」				安心検査済みステッカー「90日」			
貼付枚数/必要枚数	125	枚	/	125	枚	125	枚	/ 125 枚
破損枚数/予備枚数		枚	/	5	枚		枚	/ 5 枚
返却枚数(破損/予備)	破損	枚	/	予備	枚	破損	枚	/ 予備 枚

年 月 日

ご担当者様:

印

# 賞味期限間近から期限の超過したモノまで 備蓄食品の有効活用で社会貢献

倉庫や事務所で保管されている備蓄食品等について、ご提供いただくことで食料を必要としている人たちへの支援として有効活用されます。賞味期限超過などの理由で従来廃棄していたものをご提供いただくことは、食品ロスを削減し社会貢献活動につながります。食料を必要としている事業者へは検査基準をクリアしたもののみを提供しますので、安心して活用していただけます。

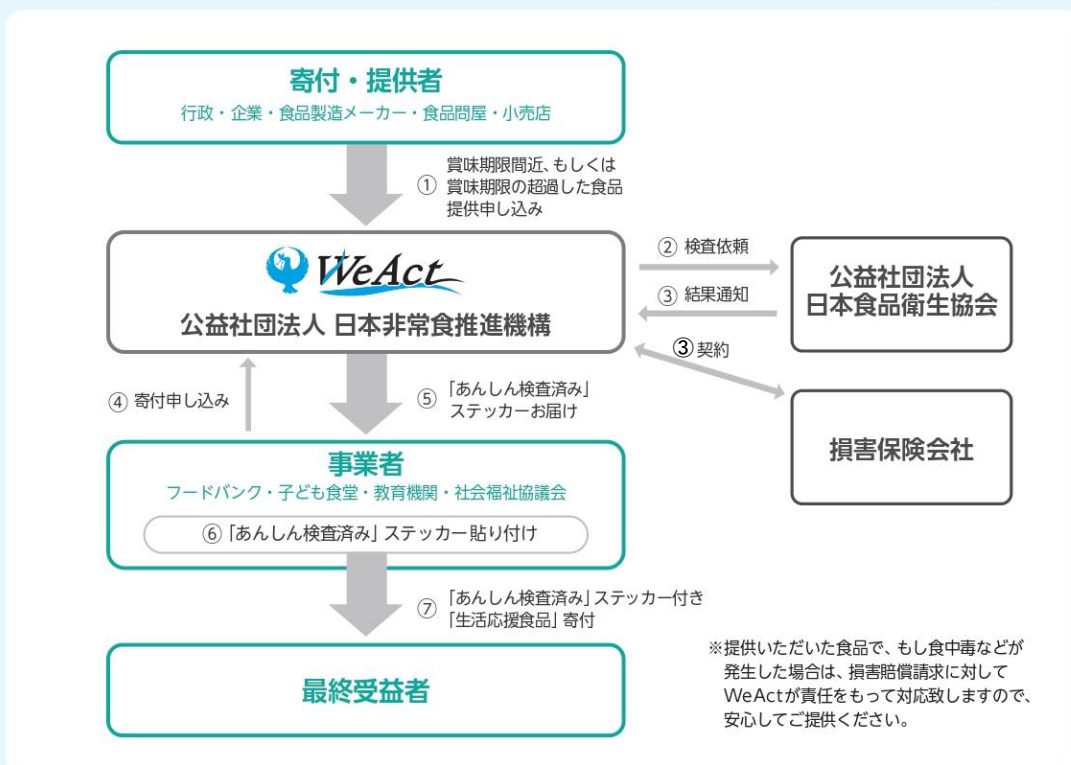


## 『生活応援食品』とは

賞味期限の超過した食品のうち、メーカーや専門家の助言を基にした事前の細菌検査や官能検査を実施し、一定の基準をクリアして「あんしん検査済み」ステッカーを添付された食品のこと。



※ステッカーはイメージです。



社会心理学的検証のため、アンケートのご協力をお願いすることがあります。

令和3年度地方消費者行政に関する先進的モデル事業 消費者庁委託事業



公益社団法人 日本非常食推進機構 理事長：古谷賢治  
三重県四日市市浮橋一丁目4番地3  
TEL 059-328-5345 [Mail] wba@jefo.or.jp  
HP http://shiroikobako.org https://jefo-donation.org

事業推進アドバイザー：  
小林富雄（愛知工業大学教授）  
調査研究：  
小澤誠一（神戸大学教授）

賞味期限が超過しても安心・安全の「あんしん検査済み」ステッカー

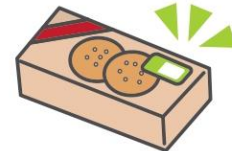
## 『生活応援食品』を活用しましょう！

### ？『生活応援食品』とは

賞味期限の超過した食品のうち、メーカーや専門家の助言を基にした事前の細菌検査や官能検査を実施し、一定の基準をクリアして「あんしん検査済み」ステッカーを添付された食品のことです。そのため、

新たな安全食品として、安心してご利用いただけます。

「あんしん検査済み」  
ステッカーが目印



「まだ食べられる」  
基準が明確になり  
食品ロス削減になる！

検査済みだから  
安心して使用が  
できる！

提供者

行政・企業

事業者

フードバンク等

より多くの食品を  
有効活用しましょう

生活応援食品

賞味期限  
超過前の食品

※社会心理学的検証のため、アンケートのご協力をお願いすることがあります。

令和3年度地方消費者行政に関する先進的モデル事業 消費者庁委託事業



公益社団法人 日本非常食推進機構 理事長：古谷賢治  
三重県四日市市浮橋一丁目4番地3  
【TEL】 059-328-5345 【Mail】 wba@jefo.or.jp  
【HP】 <http://shiroikobako.org> <https://jefo-donation.org>

事業推進アドバイザー：  
小林富雄（愛知工業大学教授）  
調査研究：  
小澤誠一（神戸大学教授）